

職員 1187 人を対象とした新型コロナウイルス中和抗体価 (SARS-CoV-2 IgG 値) の評価

◎小野田 素大¹⁾、斎藤 美菜子¹⁾、重田 弥佑¹⁾、比嘉 聖菜¹⁾、宮前 香織¹⁾、奥山 隆義¹⁾、佐藤 真由美¹⁾、岡部 紘明¹⁾
横浜南共済病院¹⁾

【目的】2021 年春、医療従事者へ新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) ワクチン先行接種が行われ、当院ではファイザー社製ワクチン接種から約 3 か月後の職員検診時に感染対策の一環として SARS-CoV-2 IgG 測定を行った。今回その結果を用いてワクチン接種による体内抗体価の動態、有用性について検討を行ったので報告する。

【方法】

対象:抗体価測定の同意が得られた全職員:1187 人(ワクチン 0 回接種:82 人,1 回:17 人,2 回:1088 人)。

測定機器:ARCHITECT i2000SR(Abbott 社)

測定試薬:ARCHITECT SARS-CoV-2 IgG II Quant.

結果は WHO 換算値(BAU/mL)で評価し、以下単位省略。

【結果】

ワクチン 2 回接種後抗体価がカットオフ値以上に上昇した職員は 1088 人(100%)であった。ワクチン接種回数に応じて抗体価の中央値・平均値共に高値であった。ワクチン 2 回接種後の全職員の抗体価を性別でグループ分けして比較したところ、(女性)中央値:435.16,平均値:554.58,(男性)中央

値:368.06,平均値:482.50 となり、女性が中央値、平均値共に抗体価が高値であり、有意差が認められた。しかし、年代別に性別をグループ分けした場合にはいずれの年代も性別で有意差は認められなかった。また、年代別抗体価の比較では (20 代)中央値:554.1,平均値:706.08, (30 代)中央値:415.93,平均値:524.62, (40 代)中央値:351.69,平均値:427.97, (50 代)中央値:317.54,平均値:420.31, (60 歳以上)中央値:293.27,平均値:393.62 であった。20 代・30 代は他の年代より中央値・平均値共に有意に高値であり、40~60 歳以上の年代間では抗体価に有意差は認められなかった。感染歴があり、ワクチンを 2 回接種した職員は高抗体価であった。

【考察】ファイザー社製ワクチン 2 回接種後の抗体価上昇が 100%であったことからワクチンは有用であったと考えられる。現在ワクチン接種約 6 カ月後の抗体価も調査中である。

連絡先 : 045-782-2101 (1157)